

## 第90回 杜の都の環境をつくる審議会 議事概要

日 時：令和3年8月25日（水）13時30分～15時30分

会 場：東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館） 602 中会議室

出席委員：中静会長，舟引副会長，池邊委員，板橋委員，内海委員，小貫委員，小嵩委員，  
佐藤委員，平塚委員，渡邊委員（計10名）

欠席委員：遠藤委員，近藤委員，米倉委員（計3名）

事務局：建設局長，建設局理事，百年の杜推進部長，百年の杜推進課長，同課主幹兼企  
画調整係長，同課緑地保全係長，全国都市緑化フェア推進室長，公園課長，同  
課公園整備担当課長，同課主幹兼建設係長，河川課長  
（計11名）

司 会：百年の杜推進課長

### 1. 開会

#### ○事務局（熊谷課長：百年の杜推進課）

—開会—

—議事録署名人の指名，傍聴ルールの説明—

・議事録署名人：中静会長，小貫委員

### 2. 議事

#### (1) 審議事項

##### ① 保存樹木の指定について

#### ○事務局（松橋主任：百年の杜推進課緑地保全係）

—資料1について説明—

#### ○平塚委員

- ・対象木はもともと和田家の屋敷内にあったということであるが，移植先の土地は，これからどのように利用されるのか。
- ・また，和田家はこの地から移転しており，対象木は和田家の所有ではないということ  
で良いか。

#### ○事務局（結城係長：百年の杜推進課緑地保全係）

- ・対象木は和田家の屋敷ではなくて，この地区にあった旧家の庭にあったものであり，それを区画整理事業の中で設置される公園の区域に移植をしたものである。公園整備は今後実施される予定である。
- ・和田家は，昭和の中ごろにこの地を離れている。

#### ○平塚委員

- ・説明資料2枚ページ目の写真を見ると、盛土をしていることが分かるが、この地域は地下水の水位が高いということか。盛土により、クロマツの根が深く伸びるような状況をつくって定着を促しているというふうに考えて良いか。

#### ○事務局（結城係長）

- ・移植前の調査で、この地域の地下水の水位が高いことが判明した。もともとあったクロマツも根を深く伸ばすことができていなかったために、津波に耐えることができなくて流されてしまった。
- ・対象木については、移植後に根が水平方向だけではなく、垂直方向にもなるべく深く伸びるようにするために高植えにした。

#### ○平塚委員

- ・今まで指定されていなかったのが不思議なぐらい立派な樹木だと思う。

#### ○小貫委員

- ・樹木保存区域は、盛土した区域ということか。

#### ○事務局（結城係長）

- ・そのとおりであり、盛土の法尻（外周部）で樹木保存区域を設定している。

#### ○小貫委員

- ・公園区域内ということであるため、もう少し広く取っても良いのではないかと思ったのだが、盛土の法尻も設定理由として分かりやすいため、良いと思う。

#### ○事務局（結城係長）

- ・当該地はこれから公園整備を行う予定であり、開園後を見据えて、利用者の踏圧から樹木を保護するために、立入防止柵を設置して、樹木の根を守っていきたいと考えている。公園管理者になる予定の宮城野区公園課とは調整を図っており、柵の設置について、前向きに検討してもらっている。

#### ○小嵐委員

- ・移植前の調査に携わった。対象木の根の張り方や、移植に耐えられるのか否か等を調査したが、やはり地下水の水位が高いということで、このような高植えになった。
- ・移植してから約3年が経ち、これまで何回か確認しているが、移植が非常に上手く行われており、今でも元気なため安堵している。
- ・今回の保存樹木への指定や樹木保存区域の範囲については賛成であるが、2点提案がある。
- ・1点目は、立入防止柵を設けることについて、併せて樹木の説明看板も設置してはどうか。対象木には歴史があり、東日本大震災の津波から生き残ったことや国内でも事例が少ない立て曳きによる移植が行われ現在地にあることなど話題に富んでおり、それらの情報をまとめた説明看板があると良い。
- ・2点目は、この全国的にも事例が少ない方法で行われた移植について、仙台市だけで

3件も行われ、しかも全てが成功しており、とてもすごいことだと思う。このことについて、宣伝ではないが、何かしらの情報発信があっても良いのではないか。また、3件とも仙台市内の同じ業者が施工しており、素晴らしい実績であるため、仙台市としても何かしらの広報があっても良いのではないかと思う。

#### ○事務局（結城係長）

- ・1点目について、保存樹木は条例に基づき、指定木の概要について記した看板を設置することになっているが、今回の対象木には、素晴らしい由来や地区の歴史などもあることから、今後の公園整備の中で設置することが可能であるか、整備を行う宮城野区公園課とも検討したい。
- ・2点目について、委員の指摘のとおりであり、本市の造園業者の技術がいかに優れているかということをもPRすることにも繋がると考えるため、今後は、機会を捉えて宣伝やPRを行っていききたいと思う。

#### ○中静会長

- ・公園整備と調整を図り、樹木の周辺環境の整備等を行ってほしい。
- ・他にいかがか。

（委員一同了承）

### (2) 報告事項

#### ① 仙台市みどりの基本計画の進行管理について

##### ○事務局（菅原主任：百年の杜推進課企画調整係）

—資料2-1, 2-2について説明—

##### ○板橋委員

- ・（オンラインで参加）事務局の説明が途切れがちであり、聞き取りづらかった。
- ・資料2-1の成果指標について、主な事業の実績と同様に、S～Bの評価が記載されていると分かりやすいのではないか。成果指標によっては、目標値に達していない項目であっても、関連する主な事業の実績がA評価になっているケースがあり、違和感を覚える。成果指標についても評価が付記されると良いのではないか。

##### ○事務局（水嶋主幹兼係長：百年の杜推進課企画調整係）

- ・新しいみどりの基本計画で予定している進行管理において、今のご意見を参考にした。

##### ○中静会長

- ・オンラインでの出席者には、会場の声が籠っていてよく聞き取れないことがある。
- ・他にはいかがか。

##### ○小貫委員

- ・計画期間はあっという間に過ぎてしまう。前計画の進行管理の中で目標に到達しない

事業も出ているが、新しいみどりの基本計画では計画期間内で、何をいつまでにどのように進めるのかという、具体的なスケジュールを設定した上で取り組んでいくということをお願い。

- ・具体的なスケジュールが示せると市民も理解しやすいと思う。

#### ○事務局（水嶋主幹）

- ・新しいみどりの基本計画は、基本計画という性格上、次の10年間で本市として緑政分野で取り組んでいきたいことなどの方向性を示したものであり、併せて、取り組んでいきたいことの中で重点化する事業・取組みなども整理している。今後、新しいみどりの基本計画に基づくアクションプランの作成に取り掛かり、具体的なスケジュールなども示していきたいと考えている。

#### ○中静会長

- ・（今回の報告対象である）令和2年度実績では、B評価の事業なども出てきている。新しいみどりの基本計画の策定作業では、令和元年度実績で前計画の振り返りが行われたが、基本的に前計画での課題などは新しいみどりの基本計画に反映させられていると理解して良いか。

#### ○事務局（水嶋主幹）

- ・そのような理解で構わない。ただ、成果指標などにおいて、最終年の実績が追加されたことで多少の変更はある。

#### ○中静会長

- ・今回のB評価事業では、コロナ禍で目標を達成できなかったものも幾つか出ている。

#### ○舟引副会長

- ・報告内容に対して特に異存はないが、成果指標にある「百年の杜ホームページへのアクセス数」に関連して、仙台市のホームページについて、局長に申し上げたいことがある。審議会委員として携わった総合計画（仙台市基本計画）は市政情報の関連ページで比較的早く見つけることが出来るが、みどりの基本計画はたどり着くまでに時間が掛かってしまった。都市計画マスタープランや環境基本計画なども同様であり、10年ぶりに改定された計画の情報を得るのに苦労する。今回の報告内容とは関係ないため、事務局の回答は求めないが、問題として提起しておく。

#### ○事務局（千葉局長：建設局）

- ・ホームページの分かりやすさというのは、以前からの課題と認識している。新しい仙台市基本計画を含め、市民の方に分かりやすく伝えなければいけないというのは言うとおりである。全てを分かりやすくというのはなかなか難しいが、検討したい。

#### ○小貫委員

- ・ホームページで見たい計画を探そうと思った時に、仙台市が策定している全計画が掲載されているページがあるだけでも随分探しやすくなると思う。市のホームページから探していこうとすると、現状では、見たい計画がどこの部署で所掌しているかが分

からないと探せない仕様になっている。

#### ○事務局（千葉局長）

- ・ホームページでの計画の掲載場所は、部署ごとではなく、「暮らし」や「経済」などジャンルごとに掲載されているが、どこに含まれているか分からないというのはそのとおりであり、工夫が出来ないか検討したい。

#### ○中静会長

- ・他にいかがか。

（委員一同了承）

### ②西公園（プール跡地）の再整備について

#### ○事務局（庄子技師：建設局公園課建設係）

—資料3について説明—

#### ○平塚委員

- ・今回のエリアでの再整備も（平成17年に策定された）基本構想に基づいて取り組もうとしているのだと思うが、他のエリアに比べてどういう考え方で作り上げるということになっているのか。今回のエリアよりも北側でも広瀬川に近接しているエリアがあるが、そこと比べて何か違いがあるかなど教えてほしい。

#### ○事務局（庄子技師）

- ・当該エリアは市営地下鉄東西線の高架橋が東西方向に設置されており、高架橋の南側では、様々なイベントに対応した多目的広場を、北側では、遊具や大型遊具などを設置する広場を整備する予定である。他のエリアに比べると、多様な活動やイベントなどに対応できるような整備を計画している。

#### ○平塚委員

- ・今回の事務局の説明は、公園施設の整備・配置をどのように計画しているかというよりは、当該エリアの植栽整備や管理など、植物に限った報告ということで良いか。

#### ○事務局（庄子技師）

- ・公園整備を行う上で必要な樹木の伐採や「保存樹林」であるヒマラヤスギの一部伐採といった植栽整備が主題の報告である。

#### ○平塚委員

- ・ヒマラヤスギに関しては保存樹林であることから、極力残すということが前提だと思う。
- ・資料3（7ページ）の完成イメージについて、植栽整備の話からそれてしまうが、キリシタン殉教碑はもともと50年ぐらい前につくられたと思うが、その当時の写真を見ると、今よりも樹木が少ない上に細くて、開けたイメージがあった。それが、その後の樹木の成長や本数の増加に伴い、鬱蒼としてしまっていて、非常に暗くて近寄り難い

ような雰囲気になってしまっている。この殉教碑が移設とあるが、今回の再整備でどのように取り扱うのか知りたい。

#### ○事務局（庄子技師）

- ・樹木については、伐採対象としたものを図示したが、残す樹木も大規模に剪定を行うことで、見通しを確保するとともに、園外から見た時にすっきりとした外観にする予定である。
- ・図示した石碑の移設は殉教碑ではなく、学校関係の碑であり、比較的小規模なものである。当該石碑は南側の階段入り口付近にあることから移設を予定しているものである。

#### ○平塚委員

- ・（学校関係の碑とは）殉教碑の周りをコの字型に囲んでいる小さな四角のことか。

#### ○事務局（庄子技師）

- ・四角のものは、飛び石のように整備する予定の平板舗装を示したものである。

#### ○平塚委員

- ・同資料（8ページ）の鳥瞰図について、秋に撮影された画像と夏季のイメージ図を組み合わせたのはなぜか。今回の再整備では、樹木をある程度伐採して開けたところも設けるが、一方で、残置する樹木を生かし周辺環境と連続させることで、全体として緑量を維持することが大事になると考えるが、これでは全然イメージができない。これはお願いであるが、今後は季節を合わせて鳥瞰図を作ってほしい。

#### ○事務局（小山主幹兼係長：建設局公園課建設係）

- ・先ほどの石碑移設の説明について補足したい。学校関係の石碑と説明したが、「仙台高校」発祥の地という記念碑であり、園内での若干の移動を行うものである。

#### ○中静会長

- ・他にいかがか。

#### ○渡邊委員

- ・7ページの完成イメージにある、地下鉄東西線の高架橋を高架プロムナードとすることについて、随所に置き型のベンチ等を設置し、シェルターとしての機能を持たせるとあるが、ベンチの設置とシェルターとしての機能がイメージとしてしっくりこない。8ページの鳥瞰図を見ると、まさに高架橋の下側の部分は壁で塞いでしまっており、何のためのシェルターなのか、よく分からない。
- ・高架橋の下側部分が鳥瞰図で描かれている壁で塞がれるような設えであると、完成イメージでは一体的になっているように見える、「あそびの丘」の中の「川見のネット」や「南トイレ」などは、高架プロムナードで分断されてしまうのか。

#### ○事務局（庄子技師）

- ・高架プロムナードは、南北の行き来が可能な構造であるが、鳥瞰図ではそれが表現されていないかった。

### ○渡邊委員

- ・空間的には一体的な設えになっているという理解で良いか。

### ○事務局（小山主幹）

- ・鳥瞰図で描かれた高架橋であるが、現在、高架下に人が立ち入らないように仮囲いを設置している。公園整備に当たっては、高架下を自由に通過できるようにしたいと考えている。

### ○渡邊委員

- ・平面図にあるシェルターとしての機能というのはどういうことなのか。

### ○事務局（小山主幹）

- ・急な雨に遭っても、高架下に逃げ込んで雨をやり過ごすというような使い方ができるということで、シェルター機能としている。

### ○渡邊委員

- ・駐車場舗装の表層について、新しいみどりの基本計画で透水性舗装を増やすという目標もあり、また、昨今は自然に近いような仕上りの舗装もあるので、丁寧に検討してほしい。維持管理等の手間が掛かるのは分かるが、国際センターの北側にある広大な駐車場（せんだい青葉山交流広場）は、ほとんどアスファルトで仕上げられてしまっている。
- ・完成イメージや鳥瞰図だけでは判別できないが、多目的広場やアウトドアフィールドなどの仕上がりも丁寧に検討してほしい。

### ○事務局（小山主幹）

- ・今後、詳細設計を行うため、その中で検討したい。

### ○中静会長

- ・新しいみどりの基本計画でグリーンインフラの推進を掲げ、雨水を地下に浸透させることとしているのであるから、再整備でも意識できると良い。

### ○小嵐委員

- ・駐車場の出入口は既存のまま、（仲の瀬橋側の）一か所になると思うが、この出入口は入る時は見つけづらく、出る時は左折しかできない上に、飛ばしている車が多くて合流しづらく、不便を感じる。改善のため良いアイデアは思い浮かばないが、何か対応ができると良いなと思う。
- ・「こけし塔広場」などの西公園の他の広場と同様に、今回再整備するエリアにも愛称があると良いと思うが、既に愛称をつけているのか。

### ○事務局（小山主幹）

- ・交通の問題については、駐車場利用者が迷わない誘導方法など、今後検討していきたい。
- ・広場等の愛称については、既につけてあるが、あまり周知できていないため、今後はホームページ等で周知していきたい。

### ○小貫委員

- ・伐採対象木は、高木や低木などの規格で分類されているのか。

### ○事務局（庄子技師）

- ・基本的に高木のみカウントしており、高木は、樹高が3メートル以上の樹木としている。

### ○小貫委員

- ・高木について、除去しなければならない外来種等が含まれているものの、伐採349本に対して、新植が76本であり、みどりを増やすことも掲げている新しいみどりの基本計画を踏まえると、もう少し新植の本数を増やしてもいいのではないかと感じた。
- ・完成イメージで、東側にある広場（「extreme 広場」）はコンクリートやアスファルトで仕上げているように見える。「西公園再整備基本計画」の頃は、ここは芝生広場のイメージだったかと思う。再整備が非常に長い年月をかけて進められており、その中で変更は生じてくるものと思うが、当時の計画策定には市民意見なども徴取していることや、新しいみどりの基本計画の中で、グリーンインフラの推進などを掲げている中でコンクリートやアスファルトの舗装で良いのか。
- ・多目的広場は鳥瞰図を見ると夏期はすごく暑そうだなという印象を受ける。また、駐車場についても、杜の都・仙台の公園の駐車場として、みどりを取り入れるアイデアがもう少し入っていると良いという印象を受けた。
- ・新しいみどりの基本計画を踏まえて、新植樹木の本数を増やすなど、今からでも取り入れられるところは改善してほしい。

### ○事務局（鈴木課長：建設局公園課公園整備担当課長）

- ・多目的広場の仕上げについて、鳥瞰図では薄茶色にしているが、これは土系舗装を予定しているためである。日当たりが良過ぎるという指摘もあるが、整備後に様々なイベントなどに使いやすいような広場に仕上げたいと考えている。
- ・高架橋北側の灰色に着色した広場については、当初は、委員の言うとおりに、芝生広場を計画していたが、ここ数年、お花見広場の舗装部分でスケートボードなどのニュースポーツと言われる遊びをする人が増えており、近隣のマンションなどから騒音対策が求められていることから、整備するものである。
- ・駐車場の舗装については、透水性に配慮した仕上げを検討したい。

### ○小貫委員

- ・多目的広場の土系舗装とは、どのようなものなのか。

### ○事務局（鈴木課長）

- ・土に固化剤を混ぜて、ほこりが立つことをある程度抑制する設えにした舗装である。

### ○小貫委員

- ・西公園再整備基本計画の頃のイメージ図では、きれいな芝生広場であったかと思うため、何かもう少し緑を入れるような工夫も検討してほしい。

- ・駐車場も単に透水性にするだけではなくて、みどりを取り込んでいくことについても検討してほしい。

**○事務局（鈴木課長）**

- ・駐車場については、今後、詳細設計を予定しているため、委員の意見を踏まえて検討したい。

**○小貫委員**

- ・全体的に緑を増やす方向で検討を進めてもらえればと思う。

**○内海委員**

- ・多目的広場の土系舗装について、臨時駐車場としても利用可能という記載があるが、どの程度までの車両が利用しても大丈夫なのか。

**○事務局（庄子技師）**

- ・基本的に小型車両までの利用が可能な設計にする予定である。

**○内海委員**

- ・小型車両というのは、普通自動車という認識で良いか。

**○事務局（庄子技師）**

- ・そうである。

**○内海委員**

- ・トラックは利用できないのか。

**○事務局（鈴木課長）**

- ・4トン車程度であれば、利用可能な構造にする予定である。

**○中静会長**

- ・他にいかが。
- ・様々な意見が出たので、再整備を進めるにあたって考慮してもらえるとありがたい。

（委員一同了承）

**その他**

**○板橋委員**

- ・会議の内容ではないが、Web参加の委員に会議室の音声がどのように届くのか、事前にチェックしてほしい。前回の審議会同様に非常に聞き取りづらかった。

**○中静会長**

- ・同感である。今日の会議は聞きにくい場面が多かったので改善してほしい。

**○平塚委員**

- ・以前の審議会でも聞いたが、東北大学農学部跡地について教えてほしい。あのような広大な土地にマンション2件、イオン株による商業施設、厚生病院と、土地が分割されて、それぞれの整備が進められている。整備が始まる前には環境アセスメントが実

施され、既存樹木については、なるべく移植や植え戻しをすることとされたが、各施設が実施する緑化については、連続性が生まれるようなやり方などを誘導することはできないのだろうか。行政としての働きかけや、現状はどうなっているかということが気になっている。

#### ○中静会長

- ・事務局で回答できることがあればお願いしたい。

#### ○事務局（佐々木部長：百年の杜推進部）

- ・当該地は、東北大学とイオン(株)との民間同士での土地の売買であり、行政としては、環境アセスメントを実施することで、関係部局が事業者に対して、できるだけ樹木を残すことや残すことが難しい場合は、樹木を新植してもらうように調整・誘導の努力をしてきた。
- ・残された樹木については、生育不良での枯死など数が少なくなっていき、結果的にはほとんどなくなってしまい、行政側としても残念に思っている。
- ・これから行われる緑化についても、新たな植栽で緑を回復できるように、関係部局と連携しながら、各事業者への働きかけに努めている状況である。

#### ○平塚委員

- ・行政が努力していることは分かった。
- ・農学部跡地は、かつて四ツ谷用水が敷かれていた一続きの土地であるから、できるだけその時の形に近くなるように、仙台市からももっと積極的に働きかけてほしい。

#### ○池邊委員

- ・新しいみどりの基本計画でも位置付けられたグリーンインフラは、造園業界の関係者や審議会委員にはもう受け入れられている言葉ではあるが、一般市民にはまだまだ馴染みのない言葉だと思う。仙台市はグリーンインフラ大賞（国土交通省主催）も受賞したが、今後、グリーンインフラをどのように捉え、評価していくのか。「質」の基準でも「量」の基準でも良いと思うが、市民にも分かりやすく、グリーンインフラとはどのようなもので、それを実現していくと、どのような良いことがあるのかということを知るようにして欲しい。

#### ○中静会長

- ・成果指標の中で示されていたともものもあるかと思うが、池邊委員の言うとおりに、グリーンインフラは、市民にはまだまだ分かりにくいものであることは確かなので、今後考えていくべきことだと思う。
- ・その他にいかがか。無ければ、議事を終了する。

（委員一同了承）

### 3. 閉会

○事務局（熊谷課長）

—閉会—